

ビ

ー

だ

ま

ビーだまのように、キラリと光る一冊を

2015年1月～6月に図書館に入った本の中から、とくにおすすめの本を紹介します

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
平成27年10月27日発行(年2回発行)

しっぽがぴん

おくはら ゆめ/作 風濤社



「しっぽがぴん しっぽがたらり ぴんもたらりもできるのよ」歌うようなリズムにのって、キツネやネコがしっぽをあげたり、さげたり。しっぽのみじかいカメも加わります。見開きいっぱいひろがる動物たちの動きにつられて、心が躍りだします。

[赤ちゃん～]

とんだ とんだ

いまもり みつひこ／きりえ・ぶん 福音館書店



大きい蝶や、小さい蝶。はっとするような美しい色をしたもの、模様が面白いもの。細部まで精密に表現された、色鮮やかな蝶たち。実はすべて、切り絵でできています。

写真を見ているかのような切り絵に、ひきこまれる絵本です。

[幼児～]

おべんとうだれとたべる？

あずみ虫／さく・え 福音館書店

くまさんのおべんとうは、コーンをいれた、しゃけサンド。ねずみさんのおべんとうは、チーズいりのたまごやき。どれも、とってもおいしそう。いったいだれとたべるのかしら。

アルミ板をハサミで切って描いた独特の質感ある絵から、ぬくもりが伝わってきます。

[幼児～]



うしのもーさん

風木一人／作 西村敏雄／絵 教育画劇



大きくて力持ちの、うしのもーさん。「ぼく」や、動物たちを大きな背中に乗せてくれます。けれども、もーさんにも願いがありました。「ぼくも……のってみたいなあ」そこで、みんなは、もーさんを持ち上げようがんばります。

みんなの奮闘に、心が温かくなります。

[幼児～]

のっていこう

木内 達朗／さく 福音館書店



今日は、お父さんとおでかけ。最初に乗ったのは、バス。それから、電車に乗って、ロープウェーに乗って……。最後に乗るのは、意外な乗り物です。

次々に登場する乗り物に、わくわくする気持ちが高まります。

[幼児～]

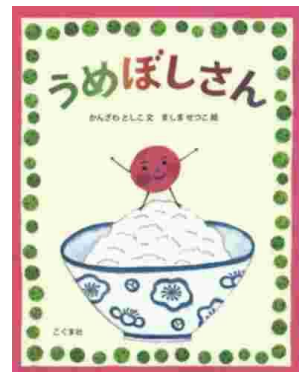
うめぼしさん

かんざわ としこ／文 ましま せつこ／絵 こぐま社

「うめぼしさん うめぼしさん」わらべうたのようなリズムにのって、梅干しのできるまでが描かれます。和紙に一粒ひとつぶ描かれた梅干しの表情も愛らしい1冊。

読み進めるにつれ、梅干しの酸っぱい味が口にひろがってくるように感じます。

[幼児～]



あーとってよあー

小野寺 悦子／ぶん 堀川 理万子／絵 福音館書店



上を向いたときの「あー」、下を向いての「あー」。うれしいときの「あー」おこった「あー」。文字にすると同じ「あー」でも、声に出してみると、全然違います。

読みながら一緒に声を出して、声の不思議をたしかめたくなる絵本です。

[幼児～]

おかお おかお おかおだよ

スマ／文 山村 浩二／絵 童心社



ゆめちゃんは、クレヨンで顔をかくののが大好き。冷蔵庫に郵便ポスト、お地蔵さんにまで顔をかいて、怒られてしまいます。

そこへやって来たのが、のっぺらぼうや。目や口をかいてあげると大よろこび。ゆめちゃんを「おばけむら」に案内してくれました。

[幼児～]

ワニくんとパーティーにいったんだ

ジュディス・カー／作・絵 こだま ともこ／訳 徳間書店

熱を出し、ひとりで留守番をしているマッティのベッドの下から現れたのは、大きなワニ。ワニはマッティをパーティーにさそうと、背中にのせて、窓から外に飛び出しました。

柔らかい線と優しい色使いで、ひとときの冒険がファンタジックに描かれています。

[幼児～]



わたしのかさはそらのいろ

あまん きみこ／さく 垂石 眞子／え 福音館書店



「わたし」は、お母さんに青色の傘を買ってもらいます。晴れた日の空と、同じ色の傘です。雨でも、傘の中だけはいい天気。動物たちが、「いーれて」と飛びこんできました。

温かなタッチの絵で、みんなの楽しい気持ち画面いっぱいひろがります。

[幼児～]

【 執筆：水島（大山図書館） 】